

News Release

平成25年11月7日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学物質の有害性評価の効率化を支援する N I T E Q S A R 講習会の開催について

N I T E (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：安井 至、本所：東京都渋谷区西原] は、試験データのない化学物質の有害性評価を支援する「有害性評価支援システム統合プラットフォーム」(通称：H E S S (ヘス)) の実践的な活用を紹介する N I T E Q S A R 講習会を平成25年12月10日(火)、11日(水)に開催いたします。

1. 現在、欧米を中心に施行されている化学物質管理制度では、新規化学物質や既存化学物質の有害性評価を事業者が主体となって行わなければならないケースが増加しており、有害性評価を低コストかつ効率的に予測できる *in silico*^{*1} モデルの開発、活用が進んでいます。
2. N I T E では、試験データのない化学物質の反復投与毒性^{*2} の評価を支援するための世界初のツールとして「有害性評価支援システム統合プラットフォーム」(通称：H E S S (ヘス)) を N E D O / 経済産業省からの委託事業で開発・公開し、昨年度からユーザー向けの講習会も開催しております。
3. この度、平成25年12月10日(火)、11日(水)に、N I T E Q S A R 講習会を開催いたします。対象は、企業や研究機関において化学物質の有害性評価に携わる方とし、H E S S を用いた自主的な有害性評価への活用のための実践的な講習を行います。
4. 講習会の定員は両開催日ともに15名、受講は無料です。お申し込みは平成25年11月29日(金)までとなっております。詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。
http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess_kousyukai_04.html
5. なお、H E S S の概要、基本操作については、平成25年12月4日(水)から6日(金)まで開催されるセミコン・ジャパン2013の出展ブースにおいても説明いたします。是非ご来場ください。

※1：「コンピュータを用いて」の意味。実際に試験や測定を行わず計算で結果を予測する手法のこと。

※2：動物に化学物質を一定期間毎日反復投与することによって現れる化学物質の毒性(生体機能や形態の変化など)

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 所長 木井 保夫
安全審査課 担当者 太田、櫻谷
電話：03-3481-1735 FAX：03-3481-1950